KUMAMOTO
みつかる。つながる。よくなっていく。
No.603 2023
YMCA NEWS 7

2023年7月1日発行
（毎月1日発行）
1984年8月15日第3種郵便物認可
発行所／（公財）熊本YMCA
〒860-8739
熊本市中央区段山本町4-1
Tel 096-353-6397㈹

YMCA会員活動に吹く新しい風

株式会社コニチワ代表
熊本YMCA常議員　幼稚園運営委員
熊本水前寺ワイズメンズクラブ　伊藤 七海 さん

幼少期に感じた社会貢献への思い

「自分と同じような年頃の子どもが裸同然の姿で物ごいをしていたんです。ショックを受けました」。YMCAの運動を支えるボランティア会員として活動している伊藤七海さんが振り返るのは、小学校低学年の頃に家族でフランスを訪れた時のこと。当時のフランスは治安がよいとはいえず、浮浪者と呼ばれる人も多かったと言います。「あの光景を見た時から社会貢献をしたいという思いを抱いていたのかもしれません」。

ホームページ制作会社の代表を務める伊藤さんは2016年、知人にYMCAを支える国際的なボランティア団体であるワイズメンズクラブに誘われました。ワイズメンズクラブは1920年代にアメリカのオハイオ州で誕生して以来、世界各国で数々の奉仕活動を展開しています。幼少期のフランスでの記憶に加え、関東出身でミッションスクールに通っていた伊藤さんにとって社会貢献は身近な存在だったといいます。YMCAながみねファミリーセンターを拠点とする熊本ひがしワイズメンズクラブを経て、熊本水前寺ワイズメンズクラブのメンバーに。YMCAが運営する水前寺幼稚園、熊本五福幼稚園を支える幼稚園運営委員会にも所属し、入園式や卒園式に参加するほか、園の祭では職員、保護者と協力して成功に導きました。

学生たちとの関わりで感じた可能性

伊藤さんは今年、ワイズメンズクラブのメンバーとして大役を担いました。西日本のワイズメンズクラブのメンバーが一堂に会する西日本区大会が6月に熊本で開催。熊本城ホールをメイン会場に635名が参加し、前夜祭をふくめ3日間に及ぶ大プログラムの実行委員長を務めたのです。

「今回は、熊本YMCA学院の学生をはじめとするユースたちが手伝ってくれたことが印象的でした」。表彰式では、YMCA学院のホテル観光科と医療秘書科の学生が介添えを担当。「直前になって動きが変わったり、大変だったと思いますが、めげずについてきてくれました。若い学生さんたちの存在は助かりますね。感謝しています」。その分、自分たちも学生たちを手助けをできたらと考えているそう。「YMCA学院は様々な大人とのつながりを持ちやすいですよね。今は積極的に表に出ていかないと自分のやりたいことを勝ち取れない時代。YMCAの学生やリーダーだと聞いたら、ワイズメンズクラブのメンバーはきっと助けてくれます。YMCA学院の学生は人脈をつくれる環境が最初からある状態で、これから何にでもなれる可能性を持つことができる。これはとても幸せなことだと思います」。

西日本区大会実行委員会の皆さんと共に

コロナ禍を経て　YMCAで実現したいこと

YMCA会員になって7年。近年は運営委員、ワイズメンズクラブとしての活動にもどかしさを感じていたと言います。「コロナ禍には入園式も卒業式も参加できなくて。園の祭も開催形式が変わらざるを得ませんでした」。積み上げてきたつながりが途絶えてしまったような気がしたと言います。「自分たちはもっと頼られたいんだ」と感じていた伊藤さんにこの春、新たなオファーがありました。YMCAの会員の代表である常議員の役割を担うことです。

「常議員がどういう活動をしているのか、正直わかってないところがあります」。それでも引き受けた理由をたずねると「何かあったらとりあえずやってみる。だめだったらやめればいいじゃんと思っているんです」と伊藤さんは笑います。「YMCAにはボランティアをもっと頼ってほしい。身体的にも頭脳的な面でも、もっとお手伝いできるはず。わがままを言ってほしいですね」。これまでの経験を生かして、職員とボランティアの垣根をなくしていきたいという思いも常議員を引き受けた理由の一つです。なぜ、これほどまでにYMCAと向き合うことができるのでしょうか。「せっかく会員になっているなら、積極的に関わったほうが面白いし、意義がありますよね。私がYMCAに望むことは、みんなが一緒に楽しく活動できること。それが常議員としてYMCAで実現したいことです」。笑顔でそう語る伊藤さん。社会がアフターコロナへと転換しつつある今、YMCAの会員活動に新たな風を吹き込んでくれる、そんな予感がします。

Pickup

花の日特集

YMCAの幼稚園、保育園、
幼児園の園児たちが
花に込めて
日ごろの感謝を伝えました

みなみセンター ぶどうの木幼児園
熊本市南消防署の皆さんが訪問

阿蘇市 黒川保育園　警察署を訪問

水前寺幼稚園　出水南小学校を訪問

第３種郵便物認可

2023年度熊本YMCA定時会員大会を開催

5月26日（金）、2023年度熊本YMCA定時会員大会を開催しました。本会場の熊本YMCA本館とサテライト会場のYMCA阿蘇キャンプをオンラインでつなぎ、125名が参加しました。第1部 礼拝では日本キリスト教団熊本草葉町教会牧師の森嶋道さんによる奨励がなされました。続いて熊本YMCA会長の吉本貞一郎さんが「価値あるYMCA活動を共に推進してまいりましょう」と挨拶しました。第2部 講演会では熊本県副知事の木村敬さんが講演。熊本県の抱える課題や今後の可能性について語り、「熊本の真の国際化にYMCAの力が必要です」「行政でも企業でもない、共助と公助の中間団体としてのYMCAの存在に期待したい」とメッセージが送られました。第3部 表彰では、永年在籍表彰者を代表して会員在籍60年の大原英子さんが挨拶し、会場から大きな拍手が送られました。

第4部 報告会では、総主事の光永尚生さんが昨年度の活動報告と決算、本年度の事業計画と収支予算を報告。最後に特別報告としてYMCA阿蘇キャンプ70周年とユースボランティアリーダー活動についてそれぞれ発表がなされ、実行委員長の岩永福子さんの挨拶をもって閉会しました。

会員永年在籍表彰者、ユースボランティア認証代表者の皆さん

常議員選任投票報告

熊本YMCAの会員代表である常議員は、2022年度の熊本YMCA会則改定により、24名以上31名以内（総主事を含む）となり、今年度は8名の方の改選及び新たな新常議員候補者の選出が行われました。定時会員大会での信任投票の結果、継続の皆さんを含め、29名が常議員として決定しました。

●再任　○新任

麻生 尚哉	伊藤 七海○	岩永 福子	上村 文美○	上村 眞智子
小川 祐一郎●	佐藤 通彦	下田 大雅○	田中 俊夫●	田上 正
長澤 牧人	西 章男	藤田 香織	北條 将人○	本田 節子
本堀 秀一●	前田 香代子	松田 誠一○	眞西 優治○	三上 充
森嶋 道	森田 哲史○	守田 富男	両角 彰則	吉岡 久美
吉松 裕藏	吉村 千恵	吉本 貞一郎	光永 尚生	（敬称略）

New

新しく常議員に
就任された皆さんを
紹介します

伊藤 七海さん
幼稚園運営委員
Yもワイズも楽しく過ごせるよう、私の出来ることをいたします。

上村 文美さん
阿蘇運営委員
たくさんの方と熊本YMCAで新たに出会い、楽しみながら共に活動したいと思います。

下田 大雅さん
東部運営委員
ユースボランティアリーダー代表の気持ちで若者の意見を出せればと思います。

北條 将人さん
本館運営委員
弁護士、ワイズメンの経験を生かしてYMCAを全力でバックアップします！

松田 誠一さん
阿蘇運営委員
YMCAの会員活動としての素晴らしい働きに、これからも感謝です。

眞西 優治さん
東部運営委員
皆様、お久しぶりです。常議員としては新米ですので、どうぞよろしくお願いします。

森田 哲史さん
幼稚園運営委員
私自身が熊本を楽しみながら、YMCAでの働きに用いられればと思います。

定時会員大会 第1部礼拝奨励より

日本キリスト教団熊本草葉町教会
森嶋 道さん

マタイによる福音書 7章7節
求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。

願いの交差点

最近、私は江津湖でホタルを見るのが楽しみです。ホタルはお尻が光りますが、仕事に追われてお尻に火がつく自分を見ると、ホタルと一緒だなと思います。ホタルは出会いを求めて光ります。みなさんも、何かの光を感じてこのYMCAにつながったのではないですか。優しさ、喜び、または慰め。その光を今も胸に掴んでいるでしょうか。

聖書は言います。求めれば与えられると。ひっくり返せば、求めることなくして、与えられることもないのです。そして、求めるものは人の数だけあります。

交差点は人が出会い、分かれて行く場所です。このYMCAもその1つです。交差点で信号を無視すれば、事故になるでしょう。それと同じく、時に、こちらの思いとあちらの思いがぶつかります。YMCAのため、熊本のため、良い世界のためと願ってもそうなります。お互いを理解し、自分を理解しないと思いがすれ違うのです。

さきほどのホタルですが、見ていると面白いことに気が付きました。はじめは、バラバラに光っていた1つ1つの光が、段々とタイミングが合ってきます。ある時にはピッタリ、同時に光ったりすると、命はつながっているんだということを感じました。私たちも、願いを重ね合わせることが出来るのではないかと思います。

「世界がぜんたい幸福にならないうちは、個人の幸福はあり得ない」（宮沢賢治）という言葉があります。私が幸せであっても、周りが不幸では本当の幸せではありません。みんなが笑顔で、私が笑顔なら、願いの交差点に立つ神様も笑顔になられるでしょう。

R | E | P | O | R | T

社会貢献 アフターコロナのコミュニケーション術　セミナーを開催

企業と企業人の社会貢献を推進するYMCAフィランソロピー協会が5月17日（水）、フィランソロピーセミナー「アフターコロナのコミュニケーション術～企業人に求められるつながり方とは～」を開催しました。会場は同協会の会員企業である肥後銀行の北熊本支店。アルファルマホールディングス株式会社代表取締役で全米NLP（神経言語プログラミング）協会認定トレーナーである佐藤拓司さんを講師に招き、31名が参加しました。

佐藤さんは、自分と他人は違うと理解する大切さを述べ、統計学に基づいて互いの相性を知ることがコミュニケーションに役立つことをワークショップを交えて解説。相手に話が伝わらないのは相手が悪いのではなく、自分の伝え方が良くないことが原因であることが多く、視覚、聴覚、体感覚を通して同じイメージを共有することの重要性を説きました。その他、「新しい人たちとつながることで人間の成長があります」「自分の喋っている言葉を一番聞いているのは自分、プラスの言葉を脳が聞くことで行動力が生まれます」と参加者らに語りかけました。

総主事室　大塚永幸

語　学 岩本光弘さん来日記念　英語で講演会

全盲のヨットマンとしてヨットでの太平洋横断に挑戦。クジラとの衝突で一度は失敗しながらも再度挑戦して成功した岩本光弘さんの講演会を5月19日（金）、YMCA本館で開催しました。岩本さんは熊本YMCAで英語を学んだ元受講生であり、現在はアメリカを拠点に活動。今回は、YMCA英会話と世界のことばのスペシャルプログラムとして、英語での講演を行いました。

徐々に目が見えなくなった頃の心境や、ヨットでの太平洋横断に挑戦するまでにあった多くの困難とそれを乗り越えるために持った心の強さ。岩本さんの夢をサポートしたドリームサポーターたちの存在。失敗の後に味わった、多くの非難、中傷と、それを乗り越えて再び立ち向かった心と新たなドリームサポーターたち。YMCA英語学習の先輩である岩本さんが話す言葉は、偉大ながらもどこか身近に感じられる内容でした。「自分の背中を押されるような素晴らしい講演会でした」との感想が聞かれるなど、参加者に勇気と感動を与えました。

インターナショナル事業部　藤川登士郎

連　携 地域の人材育成のために　岱志高等学校と協定

学校法人熊本YMCA学園と熊本県立岱志高等学校（荒尾市）が、地域社会の発展と地域における人材の育成に寄与することを目的に連携協定を締結しました。YMCAの社会教育事業や健康体操教室、スポーツ教室運営等の専門性を用いて岱志高校の「生涯スポーツ・する見る支えるスポーツ教育カリキュラム」を推進すること、熊本YMCA学院の5学科から専門職に関する情報提供を行い、高校生の進路選択のプロセスに貢献すること、その他、災害復興支援やSDGsなどに関する協力を具体的な内容として掲げています。

5月25日（木）にはYMCA本館を会場に協定書調印式を開催。岱志高等学校校長の寺田憲司さんは「熊本YMCAが使命に掲げる『共に生きる社会』『生涯学習の推進』『ウエルネス活動』『ボランティア活動』は現代の青少年育成に欠かせないもの。この協定が大きな成果になることを期待しています」と挨拶し、熊本YMCA学園理事長の光永尚生さんは「YMCAが、生徒の皆さんが自分の可能性に気づくことができるプラットフォームになることを願っています」と述べました。

熊本YMCA学院　中村賢次郎

子ども 児童発達支援事業所　「YMCAりとるすてっぷ」が開所

学校法人熊本YMCA学園は、2023年4月1日付で熊本市からことばの教室の建物を引き継ぎ、児童発達支援事業所「YMCAりとるすてっぷ」を開設しました。YMCAでは1994年から発達障がいのある子どもたちの支援事業に取り組んでおり、現在、全国35カ所で児童発達支援事業・放課後等デイサービス・サポートプログラム等を実施。熊本YMCAでは、放課後等デイサービス「自由なイルカたち」（段山本町）に続き、2カ所目の支援事業所の開設です。

5月30日（火）には開所式を開催。礼拝では、日本福音ルーテル大江教会牧師の森田哲史さんが奨励し、「『りとるすてっぷ』という名称には、子どもたちが小さい一歩を歩むのと同時に、周りの家族や地域、私たちも合わせて変化することも意味しているのではないでしょうか」とメッセージが送られました。熊本YMCA総主事の光永尚生さんによる式辞では、40年にわたり地域に根差したことばの教室の歴史、またYMCA熊本五福幼稚園の変遷、YMCAの果たす役割について語られました。子どもたち一人ひとりと家庭に寄り添い、安心感と信頼感を持って子どもたちが活動できるように取り組んでいきます。

YMCAりとるすてっぷ　熊本四季子

Information　行こう　見よう　深めよう

夏休み スポーツスクール2023

夏×挑戦

夏休みはYMCAで新しいチャレンジを。水泳教室や体操教室で子どもたちの自信を育みます。みなみセンター、ながみねファミリーセンターでは、夏休みのスポーツスクールを開講。むさしセンターでは年間で行っている教室を期間内で4回受講することができる特別企画を実施します。

場 みなみセンター（南区田迎）、ながみねファミリーセンター（東区長嶺南）、むさしセンター（合志市幾久富）
問 Tel 096-353-6391（音声ガイダンス みなみ[2] ながみね[3] むさし[4]）
スポーツスクールのほか、キャンプも実施します。詳細・お申込みはWebで

専門学校熊本YMCA学院 夏のオープンキャンパス

学び×成長

専門教育、人間教育、キャリア教育を教育方針として学生たちを育成する専門学校熊本YMCA学院の各学科の魅力にふれることができるオープンキャンパス。7月22日（土）、8月6日（日）は特別企画を準備しています。ぜひご参加ください。

学科 こども保育科、ホテル観光科、医療秘書科、健康スポーツ科、建築科　日 7月15日（土）・22日（土）・29日（土）・8月6日（日）・18日（金）・27日（日）
場 YMCA学院（熊本市中央区段山本町）
問 Tel 096-353-6393

復活 東部センター浴衣（ゆかた）祭を開催

祭×交流

改修工事を終え、活動を再開した東部センターがお祭を開催します。多くの皆さんに楽しんでいただけるように準備を進めています。ぜひご来場ください。

日 7月23日（日）10:00〜15:00　場 東部センター（熊本市中央区帯山）
※公共交通機関をご利用ください。　内 ダンス発表、e-sports&プログラミング体験、かき氷、バザーなど（予定）
問 YMCA学院 Tel 096-353-6393

熊本YMCA創立75周年記念行事

多くの皆様にお支えいただき、熊本YMCAは創立75周年を迎えます。下記のとおり記念行事を開催します。ご参加受付に関しては関係の皆様に別途ご案内いたします。

記念式典・祝賀会

日 2023年10月9日（月・祝）
内 講演会、記念式典、記念祝賀会
問 熊本YMCA 本部事務局
Tel 096-353-6397

6月には、創立75周年記念行事のキックオフとしてニューオリンズ・ジャズコンサートを開催しました。

日日時　場会場　内内容　費参加費　定定員　条参加条件　持持ち物　対対象　催主催　締締切　申申込　問問合せ　他その他

COM・PASSIONⅡ おもいやりとやさしさ Vol.19

総主事　光永 尚生

それでも今を生きよと言う ～マルクス・アウレリウスの自省録より～

イェール大学の准教授で、テレビでもおなじみの成田悠輔さんの著書にも出てくるローマ皇帝のマルクス・アウレリウスの「自省録」より考えてみます。私は、ほぼ毎晩愛読しているので、覚えている個所が何カ所かあります。その中でも、「それでも今を生きよ」という強烈なメッセージが印象的です。マルクス・アウレリウスは、ローマ時代の五賢帝最後の皇帝で、ローマの繁栄に影がさしだした時代に生きた人でした。繁栄から坂道を転げていく帝国の姿を見ながら、彼は2つの世界に生きていました。戦いに明け暮れるラテン語の世界と、文化や芸術にふれるギリシャ語の世界。昼はラテン語の世界で戦い、夜はギリシャ語の読書と思索にふける毎日でした。そして、毎晩、この「自省録」の執筆にと明け暮れていました。

現代社会では、ジョブ型雇用などが増え、専門的な働き方が益々深く浸透しています。一方で、私たちには、もう一つの生き方として、「ボランティア」などの時間を費やすこともできます。少し古い本ですが、岩波新書の「ボランティアもうひとつの情報社会」では、私たちには、2つの時間の過ごし方があり、それぞれに違った情報の種類、伝達方法などもあって、クロノスとカイノスという時間軸で、人生が構成されていることなどが示唆されています。

私たちの成すべきことは何か。「自省録」の副題には、「それでも今を生きよ」とありました。書店で初めて目にして、本を手にしたときのインスピレーションと、毎晩読みながらインスパイアーされる自分を顧みる時、戦場の幕舎で思索にふけっていた最後の五賢帝、マルクス・アウレリウスの苦悩と人生観に想いを馳せます。最後まで、パックス・ロマーナ=ローマの平和を願っていたのでしょうか。困難な時代ですが、それでも平和を実現できる今を生きたいものです。

次号は8・9月合併号として、8月下旬に発行予定です。熊本YMCAの最新情報はWebサイトでご案内します。

発行所／（公財）熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397㈹
発行人／光永 尚生　編集人／大塚 永幸
定価60円 購読料は会費に含む
www.kumamoto-ymca.or.jp
▲Facebook

熊本YMCAの使命　共に生きる社会　生涯学習の推進　ボランティア活動　地球環境の保全　ウエルネス活動　平和な世界

2023年度基本聖句　マタイによる福音書 7章7節
求めなさい。そうすれば、与えられる。探しなさい。そうすれば、見つかる。門をたたきなさい。そうすれば、開かれる。